

平成 27 年 9 月 24 日

第 18 回畜産版 5S 研究会

(一般的 5S=整理、整頓、清潔、掃除、しつけ)

日 時： 平成 27 年 9 月 24 日 (木) 15:00~17:00
場 所： サンデンフォレスト 108 会議室
参 加 者： 林 邦雄 (林牧場)、林 丈志 (林牧場)、中野、関上 (前橋市農林課)、
石関 (獣医師)、渡辺 (獣医師)、飯塚登志 (NPO 法人ぐんまテクノサポ
ーターズ)、奥野 博邦 (元サンデン 5S 担当者)、台 (サンデン)、
小林 (事務局) 以上 10 名

議 事 録

参加者紹介

挨拶：会長 林 邦雄

議 題：

1、 第 17 回畜産版 5S 研究会のレビュー

資料：議事録

議事録にて確認 (事務局による朗読説明)

2、 畜産版 5S 活動その後の取り組みについて経過報告

・ 林 牧場の取り組みについて (林 丈志)

米国の帰国報告：トウモロコシからエタノールをとり次にディーゼル燃料で最後
が飼料となる、バイオマスエネルギー化と飼料を組み合わせた先進事例の紹介。
林牧場では 5S コンテストが 12 回続いている。

5S の標準化：労働の安全→国際標準→品質の安定

・ サミットベテリナリーサービス管轄の取り組みについて (石関)

5S は浸透してきた。

京都で行われた国際獣医学会で 5S の取り組みについて英語でスピーチを実施
したところ各国の反応が非常に大きかった。

5S の普及により病気のコントロールが整備されてくる。

・ 前橋市の取り組みについて (中野)

議題 4 と併せて

3、 5S のパート 2 仕事の 5S、品質の 5S、等 (奥野)

「5S を道具に人間を育てる」

生産効率化の進め方について資料 4 ページと PPT により解説

・ 期限の決まっていない改善目標は目標がきまっていないことと同じになる

・ 現場・現実・現物の 3 現主義

・ ロスをなくす (設備のロス、人のロス、不良・手直しのロス、費用のロス)

など多くのキーワードを交えてお話を頂き、畜産業にも当てはまり必要なこと

が多くあることが共有された。

4、 前橋市と産業支援機構で話し合っ、意欲のある方が気軽に参加する5S勉強会を近いうちに開催する動きについて（中野、落合）

資料：前橋市畜産版5S研究会概要、スケジュールの解説を中野さんがおこなった。これに対し

林会長：目的は今後、養豚（畜産）を担っていく人づくりである。業者は減っていく、7年で半分になる。勉強熱心な業者が残っていく、あの時5Sを勉強してよかった日が必ず来る。残るためには大規模化が必然である、そのためには人材確保の競争が他の産業を相手に実施されていく。これからは雇用の確保と地域にいかにか受け入れられていくかが大命題である。

意識改革が大いに必要である。

対象者は始め少なくとも良い（3～5人程度）

奥野：スケジュール表でいくと今年度中に成果を出すようになっているが、急ぐべきではない。今後につなげる準備とすべきである。

事務局：主催者が前橋市と産業支援機構になったことが素晴らしい。前橋市が事務局を継続して担っていくことが重要である。

5、 その他 フリートーキング

なし

（次回の日程）

日 時：平成28年1月28日（木）15：00～17：00

場 所：サンデンフォレスト 森の教室